

# FUJITSU Hybrid IT Service Digital Application Platform Monitoring Service (β版) サービス仕様書

2022年11月16日

## [前提]

- (1) 当社は、「FUJITSU Hybrid IT Service Digital Application Platform Monitoring Service(β版)」(以下「本サービス」という)を試用サービスとして契約者(以下「契約者」という)に提供します。当社は、サービス内容、提供状態またはアクセスの可能性等に関して、何ら保証するものではなく、また、本サービスの利用により契約者または第三者に生じた損害について、何ら責任を負わないものとします。
  - ※ 本サービスの利用料金は発生しません。
  - ※ 本サービスは、FUJITSU Hybrid IT Service クラウドサービス ヘルプデスクサービス仕様書に記載されている「ヘルプデスク(試用サービス向け)」が適用されます。
- (2) 当社は、当社の判断により、本サービス公開ホームページもしくは本サービスポータルへの掲載または E メールによる通知により、事前通知なく本サービスの提供を終了する場合があります。
- (3) 本サービスは、FUJITSU Hybrid IT Service Digital Application Platform Container Platform powered by Red Hat OpenShift(以下「Container Platform powered by Red Hat OpenShift」という)で利用中のコンテナアプリケーション環境や、FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O(以下「FJcloud-O」という)で配備した仮想サーバを監視します。
- (4) 本サービスを利用して「Container Platform powered by Red Hat OpenShift」で利用中のコンテナアプリケーション環境を監視する場合、「Container Platform powered by Red Hat OpenShift」の以下の構成を契約者にて用意していただく必要があります。
  - 必須: 基本構成
  - 選択: 以下の接続オプションのどちらか、または両方
    - ① インターネット接続オプション
    - ② リージョン内接続オプション
- (5) 本サービスへのログインには、RH-SSO<sup>(\*)1</sup> または GitHub Enterprise<sup>(\*)2</sup>(以下総称して「ログインに使用するサービス」という)が必要です。本サービスの利用申請前までに契約者にて選択して用意していただく必要があります。本サービスの利用申請後に、ログインに使用するサービスの変更はできません。ログインに使用するサービスを解約した場合は、本サービスにログインできなくなります。

(\*1): RH-SSO は「Container Platform powered by Red Hat OpenShift」が提供する「Red Hat Single Sign-On」の略称です。「Container Platform powered by Red Hat OpenShift」のインターネット接続オプションを選択している場合にのみ利用できます。

(\*2): GitHub Enterprise は「FUJITSU Hybrid IT Service Digital Application Platform GitHub Enterprise」の略称です。

## 1. サービス仕様

当社は、オープンソース・ソフトウェアの Grafana を利用した以下のサービスを提供します。

ダッシュボード	<p>「Container Platform powered by Red Hat OpenShift」で利用中のコンテナアプリケーション環境や「FJcloud-O」で配備した仮想サーバから収集したメトリクス・ログを表示します。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① ベストプラクティス ダッシュボード 本サービスの利用開始直後からすぐに利用でき、収集したメトリクス・ログをベストプラクティスにしたがって可視化します。</li><li>② カスタマイズ ダッシュボード 利用者自身が作成でき、収集したメトリクス・ログを任意のレイアウトで可視化します。</li></ol>
---------	--

メトリクス収集	「Container Platform powered by Red Hat OpenShift」で利用中のコンテナアプリケーション環境や、「FJcloud-O」で配備した仮想サーバからメトリクスを収集します。
ログ収集	「Container Platform powered by Red Hat OpenShift」で利用中のコンテナアプリケーション環境や、「FJcloud-O」で配備した仮想サーバからログを収集します。
エクスプローラー	保存されたメトリクス・ログをラベル選択やクエリーによりすみやかに検索・フィルタリングできます。
アラート	メトリクスやログにしきい値などのルールを設定し、アラートをメールで通知します。

## 2. 提供リージョン

本サービスは、以下のリージョンで提供されます。

- ・東日本リージョン3

## 3. 制限値

本サービスが提供するリソースの制限値は以下のとおりです。当該制限値を超えた利用はできません。

- (1) ユーザー数：100 ユーザーまで
- (2) アラートルール数：100 ルールまで
- (3) ダッシュボード数：100 件まで
- (4) アクティブシリーズ（収集メトリクスの時系列データ）数：15 万シリーズまで
- (5) ログ保持期間：30 日間

## 4. 注意事項

- (1) 契約者は、本サービスに含まれているオープンソース・ソフトウェアの使用条件に従うものとします。オープンソース・ソフトウェアの使用条件は、本サービスのサービス利用契約に優先して適用されるものとします。
- (2) 本サービスを構成するソフトウェアは適宜更新されることがあり、当社が事前の通知なく修正ソフトウェアを適用することを契約者は了承するものとします。
- (3) サービスの維持のためにやむを得ないと判断したときには、緊急のメンテナンスを実施するためにサービスの提供を一時的に中断することがあります。

### 附則（2022年4月1日）

本サービス仕様書は、2022年4月1日から適用されます。

### 附則（2022年6月16日）

本サービス仕様書は、2022年6月16日から適用されます。

### 附則（2022年8月1日）

本サービス仕様書は、2022年8月1日から適用されます。

### 附則（2022年11月16日）

本サービス仕様書は、2022年11月16日から適用されます。